

公認会計士が
家庭経営者のためにつくった新・家庭経営ソフト

家庭 決算書

ダウンロード版

監修：依田宣夫（公認会計士・税理士・AFP）



→ 家庭経営

- ✦ [家庭経営とは](#)
- ✦ [家庭の経営者](#)
- ✦ [家庭の経営者度チェック](#)
- ✦ [家庭の消費活動](#)
- ✦ [給与会計と企業会計](#)

→ 家庭決算書

- ✦ [家庭決算書とは](#)
- ✦ [家庭決算書の作成手順](#)
- ✦ [財産対照表](#)
- ✦ [消費損益計算書](#)
- ✦ [簡単に分かるあなたの財産](#)
- ✦ [家庭決算書の分析](#)
- ✦ [消費損益計算書から分かること](#)

→ ソフト家庭決算書

- ✦ [特徴](#)
- ✦ [価格・ご購入方法](#)
- ✦ [ダウンロード](#)
- ✦ [スクリーンショット](#)
- ✦ [ご利用の方に](#)
- ✦ [Q&A](#)

→ サポート

- ✦ [家計会計協会 会社概要](#)
- ✦ [依田宣夫の一言コーナー \(コラム\)](#)
- ✦ [依田宣夫 プロフィール](#)
- ✦ [リンク集](#)
- ✦ [家庭決算書と家庭経営HP](#)

「家計簿」では真似できない
「家庭決算書」3つの特徴

1.

バランスシートの自動作成・更新

一般的な家計簿ソフトと変わらないカンタンな入力作業で、家計のバランスシートが自動的に作成・更新されます。

2.

クレジットカードの購入・支払いの個別計上

買い物をした日に支払い金額を計上して、引き落とし日に支払い口座の残高を減らす——最大30枚分のクレジットカードの利用状況を個別に管理できます。

3.

有価証券の時価評価管理

運用実績の良し悪しが家計に大きな影響を及ぼす有価証券の評価損益(時価評価)を毎月の損益に反映できます。

依田宣夫 最新著作

「家庭簿記」入門

この本を読めば、家庭用複式簿記の仕組みが分かり、複式簿記を応用した、新・家庭経営ソフト「家庭決算書」が、どのようにして作られるか、その方法を容易に理解できます。

単行本: 87ページ 価格: 735円(税込)

amazon.co.jp® で購入

(有)家計会計協会ホームページ

日本初！複式簿記を応用した「新・家庭経営ソフト」

クレジットカードの普及、有価証券投資、各種ローンやキャッシングの発達など、家計を取り巻くマネー事情は多様化しています。複雑な取引を総合的に管理するためには、どれほど使い勝手を工夫しても単式簿記の家計簿には限界があって、企業会計で用いている複式簿記を応用するしかないことは専門家の間では“常識”でした。しかし、企業会計ソフトをそのまま家計簿に転用しても、「借方」「貸方」といった簿記の知識がない人には利用してもらえません。

簿記の知識がない人にも、一般的な家計簿ソフトを使いこなす感覚で利用できる複式簿記ソフトが作れないものか——。そうした目的で開発したのが「家庭決算書」です。

2002年11月、プレジデント社発刊の「家庭決算書」の付録として第一弾のCD-ROMソフトを発表してから9年。利用者の声を反映して操作性の向上や機能性の拡充に取り組み、今回ダウンロード版としてリリースすることができました。

「家庭決算書」は日々の取引の一つ一つが「消費損益計算書」と「財産対照表（バランスシート）」に連動しているので、企業経営者が財務諸表から経営状況を読み取る感覚で、家計の全体状況をリアルタイムで把握することができます。

クレジットカードをよく利用する方、有価証券投資を行っている方、住宅ローンを抱えている方やパスモ・スイカなどを利用されている方にも、とくにお勧めしたい「家庭経営ソフト」です。

（開発者／依田宣夫・公認会計士）

「家庭決算書」XP版

会計期間 1月1日から12月31日まで

簿 記 家庭簿記（家庭用複式簿記）

ダウンロード版 （株）ベクターにて販売

<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/home/se485979.html>

販売価格 1,260円（税込）

「Windows 7」および「Vista」への対応について

「家庭決算書」XP版の、「Windows 7」および「Vista」への現時点での対応は、以下のHPで、マイクロソフトより無料にて提供されている「Microsoft Virtual PC」をご利用いただき、

お客様のPCの中に、XPの環境を別途構築し、その中で弊社のソフトをご利用いただくようお願い致します。

「Vista版」

[「Microsoft Virtual PC」](#)

「Windows 7 版」

<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows7/products/features/windows-xp-mode>

<http://www.microsoft.com/japan/windows/virtual-pc/default.aspx>

1、財産対照表で分かる家庭の現状

家庭決算書は、財産対照表と消費損益計算書という2つの報告書から構成され、両者はシステム的に結びついています。財産対照表と消費損益計算書という二つの報告書の中身を分析することにより、家庭のさまざまな現状を明らかにすることができます。また、家庭の経営者が意思決定をする際、このような会計情報を持つことが、家庭経営にいかに関与するかということも理解できると思います。

財産対照表と消費損益計算書の中身をそれぞれ分析することによってどのようなことが分かるのか、具体的に考えてみましょう。

1、財産対照表で分かる家庭の現状

財産対照表は、「資産の合計」と「負債+正味財産の合計」が常に一致（バランス）しています。

「資産の合計」＝「負債+正味財産」の合計

この財産対照表を見ると、家庭が健全な状態だとか、または債務超過の状態だとか、家庭の現状を理解することができます。

1) 無借金するとき

財 産 対 照 表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 1 0 0 0	負 債 0
	正味財産 1 0 0 0
合 計 1 0 0 0	合 計 1 0 0 0

ローンなどの借入れが全くない場合には、資産と正味財産の金額が同じになります。

2) ローンなどの負債があるとき

資産が1000あり、負債が200ある場合は、次のようになります。

財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 1 0 0 0	負 債 2 0 0
	正味財産 8 0 0
合 計 1 0 0 0	合 計 1 0 0 0

住宅ローンなどの借り入れによって資産を購入した場合の財産対照表は、このようになります。

3) 債務超過のとき

負債が資産より多い場合（資産<負債）には、債務超過の状態と言い、正味財産は マイナス となってしまいます。

例えば、資産が1000で、負債が1500ある場合、正味財産は、マイナス500となります。

財産対照表

左 方 (ひだりかた)		右 方 (みぎかた)	
資 産	1 0 0 0	負 債	1 5 0 0
		正味財産	- 5 0 0
合 計	1 0 0 0	合 計	1 0 0 0

この場合は、資産をすべて売却して負債を返済しても、なお、負債が残ってしまうという状態になっていることを表しています。したがって、もし自分たちの財産対照表がこのような状態になっていることが分かったら、家庭の改善策を考えることが必要となります。

2、家庭の健全度と財産率

家庭の健全度を見るひとつの目安として、「財産率」があります。

「財産率」とは、正味財産を資産合計で割った割合を言います。

$$\text{財産率 (\%)} = \text{正味財産} \div \text{資産合計} \times 100$$

この財産率を計算して、財産率が50%以下になってきたら、家庭の注意信号と考えるとよいでしょう。

例えば、財産対照表が次のような場合は、

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 1000	負 債 200
	正味財産 800
合 計 1000	合 計 1000

$$\begin{aligned} \text{財産率} &= \text{正味財産} \div \text{資産合計} \times 100 \\ &= 800 \div 1000 \times 100 \\ &= 80\% > 50\% \end{aligned}$$

となります。この場合は、50%を超えているので、健全といえます。

また、財産対照表が次のような場合は、

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 1000	負 債 1500
	正味財産 -500
合 計 1000	合 計 1000

$$\begin{aligned} \text{財産率} &= \text{正味財産} \div \text{資産合計} \times 100 \\ &= \Delta 500 \div 1000 \times 100 \\ &= \Delta 50\% < 50\% \end{aligned}$$

となります。この場合は、50%を大きく下回っているので、健全性に問題があり、改善が必要です。

このように、財産対照表で財産率を計算することで、家庭の健全性がすぐに判断ができ、改善の

必要性などが分かり、家庭経営に役に立てることが出来ます。

3、資産家と財産家

(1) 資産家と財産家の違い

財産対照表の資産の金額が大きく、資産をたくさん持っている資産家と正味財産の金額が大きい財産家とは大きな違いがあります。

いま、資産が1,000、負債が500だとすると、財産対照表は次のようになります。

財 産 対 照 表

左 方 (ひだりかた)		右 方 (みぎかた)	
資 産	1,000	負 債	500
		正味財産	500
合 計	1,000	合 計	1,000

このとき、1,000の借り入れをして不動産を購入したとすると、資産の合計は、倍の2,000に増加します。しかし、資産が2,000に増えたとしても、正味財産は500のままで増加しません。このように、資産だけを見ると、大きな金額を持っていて大資産家といえますが、借入金によって資産を増やしても正味財産は増加しません。

財 産 対 照 表

左 方 (ひだりかた)		右 方 (みぎかた)	
資 産	2000	負 債	1500
		正味財産	500
合 計	2000	合 計	2000

(2) 資産家なのに債務超過の状態になる場合

立派な土地や建物を取得したとしても、無理なローンを組み、資産の価値が時価の下落により下がった場合などに、このような状態になります。例えば、資産が時価の下落で1,000なってしまったのに、負債は1,500のままの場合です。

財 産 対 照 表

左 方 (ひだりかた)		右 方 (みぎかた)	
資 産	1,000	負 債	1,500
		正味財産	-500
合 計	1,000	合 計	1,000

このように、無理なローンを組み、資産の金額を大きくすれば良いというのではなく、自分たちの財産状態をよく検討して、ローンを組むことすることが必要です。

4、スイカ・パスモなどの管理法（1）

スイカやパスモなどのカードのお金をチャージした時、使ったりした時などの管理を、家庭決算書では、次のような手順で行います。

- 1、初期設定
- 2、現金を入金（チャージ）した場合
- 3、スイカ・パスモなどを使った場合

1、初期設定

はじめに、その他資産の残高入力で、スイカ・パスモなどの現在の残高金額を入力します。

初期設定



その他資産

敷金、保証金、他人に対する貸付金などがある場合、その残高を入力してください。
 その他資産は3項目まで設定できます。

資産名	残高
スイカ	¥3,000
パスモ	¥2,000
	↓

4、スイカ・パスモなどの管理法（2）

（2）スイカ・パスモなどに現金を入金（チャージ）した場合

現金の入力画面を開き、日付、内容（チャージ）を入力します。
相手科目は「その他資産－スイカ」を選び、現金の出金で金額を入力し、登録をクリックして、完了です。

この場合、現金という資産が、その他資産（スイカなど）に変わっただけなので、家庭の正味財産への影響は、ありません。

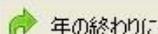
入力処理

- 現金
- 普通預金
- カード購入
- 現金・普通預金以外

家庭決算書

- 家庭決算書
- 分析
- 科目月別残高
- 予算実績対照表

決算



年の終わりに

設定の変更

- 初期設定
- オプション

ヘルプ

- マニュアル
- 家庭決算書の見方
- 家庭決算書Q&A

現金入力

日付 内容 相手科目 入出金 金額
 01/28 現金入金 その他資産 / スイカ 出金 ¥5,000

登録 クリア 手引き

日付	内容	相手科目	入金	出金	残高	訂正	複写	削除
01/26		普通預金 / 三菱東京UFJ	¥50,000		¥95,965	訂正	複写	削除
01/18	レストラン	その他生活費 / 外食費		¥5,300	¥45,965	訂正	複写	削除
01/18	ノート	その他生活費 / 教育費		¥105	¥51,265	訂正	複写	削除
01/12	バス	日常生活費 / 交通費		¥200	¥51,370	訂正	複写	削除
01/01		日常生活費 / 交通費		¥3,000	¥51,570	訂正	複写	削除
01/01	コンビニ	日常生活費 / 消耗品費		¥230	¥54,570	訂正	複写	削除
01/01	スーパー	日常生活費 / 食料費		¥3,200	¥54,800	訂正	複写	削除

4、スイカ・パスモなどの管理法（3）

3、スイカ・パスモなどを使った場合

家庭決算書では、スイカ・パスモなどを使った場合、「現金・普通預金以外」の入力画面で処理することになります。

「現金・普通預金以外」の科目入力に関しては、

科目1（左方－ひだりかた）

科目2（右方－みぎかた）

の選択方法に運用ルールがあります。

「資産科目」・「消費科目」は、

科目1（左方－ひだりかた）を選択すると金額が増える

科目2（右方－みぎかた）を選択すると金額が減る

「負債科目」・「正味財産科目」・「収入科目」は、

科目1（左方－ひだりかた）を選択すると金額が減る

科目2（右方－みぎかた）を選択すると金額が増える

スイカやパスモなどを使った場合には、次のように入力処理をします。

（例） スイカで電車代150円を支払った

科目1「日常生活費－交通費」 / 科目2「スイカーその他資産」

家庭決算書2011

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 普通預金
- カード購入
- 現金・普通預金以外
- 家庭決算書
 - 家庭決算書
 - 分析
 - 科目月別残高
 - 予算実績対照表
 - 決算
 - 年の終わりに
 - 設定の変更
 - 初期設定
 - オプション
 - ヘルプ
 - マニュアル
 - 家庭決算書の見方
 - 家庭決算書Q&A

現金・普通預金以外の取引

日付	内容	金額	科目1	科目2	訂正	複写	削除
01/19	電車代	¥150	日常生活費 / 交通費	その他資産 / スイカ			
01/16	オートローン	¥1,300,000	車両	その他借入金	訂正	複写	削除

登録 クリア 手引き

スタート 家庭決算書2011

5、給料の内容を明らかにする

毎月の給料が普通預金口座に振り込まれる場合、所得税、住民税、社会保険料などの金額があらかじめ天引き（控除）されて振り込まれるのが一般的です。

たとえば、給料の総額（額面金額）が、300,000円で、所得税が20,000円、住民税が18,000円、社会保険料が20,000円だとすると、3月25日に普通預金口座に振り込まれる給料の金額は、242,000円（300,000円－20,000円－18,000円－20,000円）になります。

この場合、給料の内容を明らかにするために、家庭決算書では、次のような入力処理をします。

- (1) 普通預金の入力画面でまず最初に、給料の総額（額面金額）300,000円が、普通預金口座に振り込まれたという処理をします。

日付は3月25日、内容は給与振込み、相手科目は給与収入、入金で、300,000円を入力して、登録をクリックします。

- (2) 天引き（控除）されている所得税20,000円、住民税18,000円、社会保険料20,000円が、普通預金口座から支払われたという処理をします。

たとえば、社会保険料の場合は、普通預金の相手科目として、消費科目の税金等の社会保険料を選び、出金にして20,000円を入力し、登録をクリックします。

すべての入出金処理が終わると、普通預金の入力画面は、次のようになります。

また、これを、家庭簿記（家庭用複式簿記）の仕訳で表すと、次のようになります。

左方（ひだりかた）

右方（みぎかた）

普通預金	300,000円	/	給与収入	300,000円
所得税	20,000円	/	普通預金	20,000円
住民税	18,000円	/	普通預金	18,000円
社会保険料	20,000円	/	普通預金	20,000円

家庭決算書2010

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 普通預金
- カード購入
- 現金・普通預金以外

家庭決算書

- 家庭決算書
- 分析
- 科目月別残高
- 予算実績対照表

決算

- 年の終わりに

設定の変更

- 初期設定
- オプション

ヘルプ

- マニュアル

普通預金入力

日付 内容 相手科目 入出金 金額

03/25 [] [] [] [] ￥0

口座選択: A銀行 [] [登録] [クリア]

日付	内容	相手科目	入金	出金	残高	訂正	複写	削除
03/25	給料の振込み...	税金等 / 社会保険料		￥20,000	￥457,000	訂正	複写	削除
03/25	給料の振込み...	税金等 / 住民税		￥18,000	￥477,000	訂正	複写	削除
03/25	給料の振込み...	税金等 / 所得税		￥20,000	￥495,000	訂正	複写	削除
03/25	給料の振込み	給料	￥300,000		￥515,000	訂正	複写	削除

6、住宅ローンの元金部分と利息部分を分ける

普通預金口座から引き落とされる住宅ローンの返済は、通常、元金部分と利息部分の合計金額が、一括で引き落とされます。

例えば、1月20日にA銀行の普通預金口座から住宅ローンの返済として、135,000円が、引き落とされたとします。
この内訳は、借入金の元金部分の返済が100,000円、支払利息部分が35,000円でした。（注：返済予定表で確認できます）

この場合の入力処理は、元金部分返済と支払利息部分に分けて、次のように処理をします。

- (1) 「元金部分返済の入力処理」は、普通預金口座から銀行を選択して、日付を1月20日にして、内容を入力します。
相手科目「負債」の「住宅ローンA銀行」を選択して、出金を選択し、金額100,000円を入力します。
- (2) 「支払利息部分の入力処理」は、同様に、普通預金口座の銀行を選択して、日付1月20日と、内容を入力します。
相手科目「特別消費」の「住宅ローン支払利息」を選択して、出金を選択し、金額35,000円を入力します。

財産対照表と消費損益計算書で、正しく入力されたか確認をする

財産対照表に正しく計上されたか、入力画面の家庭決算書をクリックして家庭決算書を表示します。1月を選択し、財産対照表のタブをクリックします。

特別消費の住宅ローン支払利息が、正しく入力されたか確認をします。

1月の消費損益計算書のタブをクリックします。

特別消費の住宅ローン支払利息が合計欄に、正しく計上されていることを、確認します。

入力処理

- 現金
- 普通預金
- カード購入
- 現金・普通預金以外
- 家庭決算書**
- 家庭決算書
- 分析**
- 科目月別残高
- 予算実績対照表
- 決算**
- 年の終わりに
- 設定の変更**
- 初期設定
- オプション
- ヘルプ**
- マニュアル

普通預金入力

日付	内容	相手科目	入出金	金額
01/20	住宅ローン 支払利息	住宅ローン支払利息	出金	35000

口座選択: A銀行

登録 クリア

日付	内容	相手科目	入金	出金	残高	訂正	複写	削除
01/20	住宅ローン 元金	住宅ローン / A銀行		¥100,000	¥280,000	訂正	複写	削除

7、有価証券取引（1）投資と正味財産

（1）有価証券に投資をしても正味財産は変わらない

株式などの有価証券に投資をした場合、現金や預金が減少し有価証券が増加します。この場合、財産対照表の資産の中身が変化しただけで、正味財産の金額は変わりません。

有価証券を売却したり、時価の変動（上昇、下落）によって財産対照表は影響を受けます。いま財産対照表が、次のようになっていたとします。

財産対照表

左	方（ひだりかた）	右	方（みぎかた）
資	産	負	債 500
預	金 1000	正味財産	500
合	計 1000	合	計 1000

このとき、株式に500だけ投資をしたとします。すると、財産対照表は次のようになります。

財産対照表

左	方（ひだりかた）	右	方（みぎかた）
資	産	負	債 500
預	金 500	正味財産	500
株	式 500		
合	計 1000	合	計 1000

このように資産の中身が預金と株式に変わっただけで、財産対照表全体には影響を与えていません。

7、有価証券取引（2）株式を売却し、売却益がでた場合

（2）株式を売却した場合の財産対照表への影響

1）株式を売却し、売却益がでた場合

所有している株式500を、600で売却したとします。このとき預金は $500 + 600 = 1100$ となります。

また、株式売却により $600 - 500 = 100$ の売却益がでて、正味財産が100増加することになります。この結果、財産対照表は次のようになります。

財産対照表

左 方（ひだりかた）		右 方（みぎかた）	
資 産		負 債	500
預 金	1100	正味財産	600
株 式	0	（内：当期消費損益	100）
合 計	1100	合 計	1000

消費損益計算書

左 方（ひだりかた）		右 方（みぎかた）	
消 費	0	収 入	
当期消費損益	100	株式売却益	100

7、有価証券取引（3） 株式を売却し、売却損がでた場合

（3） 株式を売却し、売却損がでた場合

所有している株式500を、300で売却したとします。このとき預金は $500 + 300 = 800$ となります。

また、株式売却により $500 - 300 = 200$ の売却損がでて、正味財産が200減少することになります。この結果、財産対照表は次のようになります。

財産対照表

左 方（ひだりかた）	右 方（みぎかた）
資 産	負 債 500
預 金 800	正味財産 300
株 式 0	(内：当期消費損益 -200)
合 計 800	合 計 800

消費損益計算書

左 方（ひだりかた）	右 方（みぎかた）
消 費	収 入 0
株式売却損 200	
当期消費損益 -200	

7、有価証券取引（４）株式の時価(相場)が上昇した場合

次に、株式の時価(相場)の変動によって、財産対照表がどのような影響を受けるのか見てみましょう。

（４）株式の時価(相場)が上昇した場合

いま株式の時価(相場)が、550に上昇したとします。このとき、株式の価格は500から550となります。また、株式の時価(相場)の上昇により、 $550 - 500 = 50$ の評価益が生じたので、正味財産が50増加することになります。

この結果、財産対照表は次のようになります。

財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産	負 債 500
預 金 500	正味財産 550
株 式 550	(内：当期消費損益 50)
合 計 1050	合 計 1050

消費損益計算書

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
消 費 0	収 入
当期消費損益 50	株式評価益 50

7、有価証券取引（5）株式の時価(相場)が下落した場合

（5）株式の時価(相場)が下落した場合

いま株式の時価(相場)が、400に下落したとします。このとき、株式の価格は500から400となります。また、株式の時価(相場)の下落により、 $500 - 400 = 100$ の評価損が生じ、正味財産が100減少することになります。
この結果、財産対照表は次のようになります。

財産対照表

左 方 (ひだりかた)		右 方 (みぎかた)	
資 産		負 債	500
預 金	500	正味財産	400
株 式	400	(内：当期消費損益	-100)
合 計	900	合 計	900

消費損益計算書

左 方 (ひだりかた)		右 方 (みぎかた)	
消 費		収 入	0
株式評価損	100		
当期消費損益	-100		

このように、株式を購入しただけでは、正味財産に影響は与えませんが、購入した株式を売却したり、株式の時価の変動があったりした場合には、正味財産が影響を受けることになります。

8、資産の中身を見る

資産の中には、すぐに現金化できる現金や普通預金と、現金化に時間のかかる不動産や車などがあります。また、負債にはキャッシングやクレジットカードの支払いなどすぐに返済すべきものと、住宅ローンや割賦代金の返済など長期間で返済するものがあります。

短期間で現金化できるものとすぐに返済すべきものを比べたとき、すぐに返済すべきものの金額が短期間で現金化できるものの金額より大きい場合には、家庭の資金繰りは苦しくなります。

例えば、財産対照表が次のようになっている場合です。

財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産	負 債
短期間で現金化できるもの 5 0 (現金、預金など)	すぐに返済すべきもの 1 0 0 (カード未払金など)
現金化に期間を要するもの 5 0 0 (土地、マンションなど)	長期間で返済するもの 3 0 0 (住宅ローンなど)
	正味財産 1 5 0
合 計 5 5 0	合 計 5 5 0

このような場合には、返済のために、また返済資金を借りなければならない危険性があります。また、家庭生活をしているとき急な支出や一時的な支出で現金が必要になる場合もあります。

このような財産対照表では、いざというときの支出の備えが十分であるとは言えません。

このように、財産対照表の資産の内容についての検討も大事になります。

9、負債の発生とその原因（1）「資産の購入」の場合

9、負債の発生とその原因

負債とは、いずれ支払わなければならない債務のことですが、その発生原因には、「資産の購入」の場合と「消費」の場合があります。

「資産の購入」の場合とは、住宅の購入や車などを購入した場合に、住宅ローンや自動車ローンなどを組むことによって生ずる負債を意味します。

この場合には、財産対照表の資産に土地、建物またはマンションや車両が計上され、購入後には正味財産の増減は生じません。

「消費」の場合とは、カードで洋服を購入したり、無担保ローンで海外旅行に出かけたりした場合に生ずる負債を意味します。

この場合には、財産対照表には資産が計上されず、負債だけが計上されることになり、正味財産が減少することになります。

（1）「資産の購入」の場合

（例）1000のマンションをローンで購入

資産購入前の財産対照表

左 方（ひだりかた）	右 方（みぎかた）
資 産 預 金 500	負 債 0
	正味財産 500
合 計 500	合 計 500

資産購入後の財産対照表

左 方（ひだりかた）	右 方（みぎかた）
資 産 預 金 500 マンション 1000	負 債 住宅ローン 1000

			正味財産	500	
合	計	1500	合	計	1500

この場合には、購入後に正味財産の増減は生じません。

9、負債の発生とその原因（2）「消費」の場合

（2）「消費」の場合

（例）20のローンで海外旅行へ行く

旅行に行く前の財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 預 金 500	負 債 0
	正味財産 500
合 計 500	合 計 500

旅行後の財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 預 金 500	負 債 旅行ローン 20
	正味財産 480 (内：当期消費損益 -20)
合 計 500	合 計 500

消費損益計算書

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
消 費 旅行費 20 当期消費損益 -20	収 入 0

この場合には、正味財産が減少することになります。

10、資産の時価の変動と負債

土地、建物、マンションなどの不動産や車両、有価証券などの資産の価値は、景気変動による時価の下落とか減価償却によって目減りしますが、負債はそうした影響は受けません。

例えば、3,500万円の家を購入するのに、頭金700万円、住宅ローン2,800万円で購入したとします。10年後に家の時価評価が1,800万円に下がったとします。

このとき、負債は10年間の元金返済分しか減っていないので、財産対照表をみると、家を売却しても住宅ローンの残高が残ってしまうというケースが生じていることが分かります。

このように、土地、マンションなどの高額な資産を購入する場合には、資産価値が目減りをする場合もあるということを考慮して、住宅ローンを組む必要があります。

10年後の財産対照表の変化

10年後のマンションの時価	1,800
10年間の住宅ローンの元金返済額	500

マンション購入時の財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産	負 債
預 金 600	住宅ローン 2,800
マンション 3,500	
	正味財産 1,300
合 計 4,100	合 計 4,100

10年後の財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産	負 債
預 金 100	住宅ローン 2,300
マンション 1,800	
	正味財産 -400
	(内：当期消費損益-1,700)
合 計 1,900	合 計 1,900

消費損益計算書

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
消 費	収 入 0
資産評価損 1,700	
当期消費損益 -1,700	

11、クレジットカードで買い物をした場合(1)

クレジットカードで買い物をした場合は、先に消費が行われ、お金の支払いは後になります。

クレジットカードで買い物をした時、消費損益計算書に消費が計上され、財産対照表には負債が計上されます。

例えば、背広を購入したり、レストランなどで食事をしたりして、クレジットカードで支払いをした場合には、消費損益計算書に衣料費とか外食費（または交際費）という消費が計上され、財産対照表にカード未払金という負債が計上されます。

また、後日、カード決済日にお金の支払いが行われたときには、財産対照表の現金や預金が減少し、同時にカード未払金という負債が減少します。この時には、消費損益計算書には何も計上されません。

例えば、消費損益計算書と財産対照表が、次のようになっていたとします。

消費損益計算書

左 方 (ひだりかた)		右 方 (みぎかた)	
消 費	2 0 0	収 入	3 0 0
税金等	3 5		
日常生活費	1 2 0		
その他生活費	4 5		
特別消費	5		
当期消費損益	1 0 5	特別収入	1 0

財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)

資 産		負 債	0
現 金	10		
預 金	300		
そ の 他	500		
		正味財産	810
		家族財産	100
		留保財産	605
		当期消費損益	105
合 計	810	合 計	810

このとき、デパートで背広を100で購入して、支払い代金をクレジットカードにしたとします。

11、クレジットカードで買い物をした場合(2)

消費損益計算書と財産対照表は、次のようになります。

(背広の購入費は、その他生活費で処理しています)

消費損益計算書

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
消 費 200	収 入 300
税金等 35	
日常生活費 120	
その他生活費 145	
特別消費 5	
当期消費損益 5	特別収入 10

財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産	負 債
現 金 10	カード未払金 100
預 金 300	
そ の 他 500	
	正味財産
	家族財産 100
	留保財産 605
	当期消費損益 5
合 計 810	合 計 810

このように、消費損益計算書のその他生活費（衣料費）は145となり、当期消費損益は105から5に減少します。また、財産対照表の負債にカード未払金100が計上されますが、現金や預金の支払いは生じません。

そして、後日、カード決済日に預金から代金の支払いが行われたとき、預金が100減少し、財産対照表は次のようになります。

財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産	負 債
現 金 1 0	カード未払い金 0
預 金 2 0 0	
そ の 他 5 0 0	
	正味財産
	家族財産 1 0 0
	留保財産 6 0 5
	当期消費損益 5
合 計 7 1 0	合 計 7 1 0

12、お金を貯めてからモノを買うのと、いますぐ借入金で買うのとの差(1)

Aさん、Bさんの2人が、50万円のテレビを買いたいと思っています。Aさんは現在の古いテレビで我慢をして1年間に10万円ずつ貯蓄し、5年後に新しいテレビに買い換えるつもりです。一方、Bさんはいますぐに新しいテレビが欲しいので、50万円を借り入れして、5年返済の予定でテレビを購入しました。このときのローンの金利は20%でした。

AさんとBさんを比較すると次のようになります。

Aさんの場合

年 度	貯 蓄
1年目	10万円
2年目	10万円
3年目	10万円
4年目	10万円
5年目	10万円
合 計	50万円

12、お金を貯めてからモノを買うのと、いますぐ借入金で買うのとの差（2）

Bさんの場合

年 度	貯 蓄	元金支払	支払利息	
1年目	10万円	10万円	10万円	$50 \times 20\%$
2年目	10万円	10万円	8万円	$40 \times 20\%$
3年目	10万円	10万円	6万円	$30 \times 20\%$
4年目	10万円	10万円	4万円	$20 \times 20\%$
5年目	10万円	10万円	2万円	$10 \times 20\%$
合 計	50万円	50万円	30万円	

12、お金を貯めてからモノを買うのと、いますぐ借入金で買うのとの差（3）

このように、Aさんは現在の古いテレビで我慢をして、毎年10万円ずつ5年間で50万円貯蓄をし、この50万円で新しいテレビを購入しました。

一方、Bさんはいますぐに新しいテレビが欲しかったので、その資金50万円を借り入れテレビを購入しました。Bさんの5年間を見ると、貯蓄10万円は借入金の元金返済に充てられています。しかし、支払利息の分が不足しているので、他の消費を節約するか、自分の他の貯蓄を取り崩して補充しなければなりません。

支払利息の合計は、5年間で30万円となり、この分だけ家計は苦しくなっているはずですが。

AさんとBさんの違いは、消費による満足を先にするか、後にするかの違いです。Aさんは我慢してからモノを買い、Bさんは先にモノを買ってから我慢するという考え方の違いです。

消費による満足を先にする場合、その資金を借り入れに頼ると、必ず、支払利息が発生します。したがって、借り入れ金額と支払利息の合計が、自分の「消費満足の先取り」に見合うものかどうか、よく考えることが大切だと思います。

13、消費損益計算書から分かること（1）

ある年の当期消費損益が悪化した場合、なぜ悪化したのかという理由を知ることが重要です。

悪化した理由が、例えば、冷蔵庫が突然壊れて買い替えをしなければいけなくなったためといったイレギュラーな消費である場合には、その悪化は継続しないと予測できます。

また、その理由が毎年同じ月に同じ原因で悪化しているのであれば、来年も同様に悪化することが予測できます。

家計のデータが蓄積されれば、家計の中でウェイトの高い消費を把握したり、家計の消費構造の変化や傾向もつかめたりしてきます。

さらに、消費損益計算書の月次の推移や年次の推移を見て、比較分析することにより、家庭の実態がより理解され、家庭経営に役立てることが可能となります。

例えば、消費損益計算書の年次の推移を比較すると次のようになります。

- * 特別消費は住宅ローンの支払利息
- * 3年目の収入減はボーナスの減少
- * 3年目の消費の増加は子供の高校入学
- * 5年目の特別消費の増加は地価下落による資産の評価損
- * 6年目の収入増はパート勤務
- * 6年目の消費の増加は子供の大学入学

13、消費損益計算書から分かること（2）

消費損益計算書

	一年目	二年目	三年目	四年目	五年目	六年目
収入	800	820	780	750	750	800
消費	600	610	650	610	610	670
特別収入	0	0	0	0	0	0
特別消費	50	48	46	43	150	40
当期消費損益	150	162	84	97	-10	90

このように消費損益計算書の月次の推移や年次の推移を見て、比較分析することにより、家庭の実態を理解することが可能となります。

14、財産対照表と消費損益計算書の連動

家庭決算書では、財産対照表と消費損益計算書が両輪となって常に連動しているので、家庭の全体状況を把握することができます。

例えば、スタート時点の財産対照表の資産が1000、負債が200、正味財産が800だとします。

そして、1年間の消費活動は、収入が800で消費が700だったとします。

この結果、1年後の財産対照表は以下の通りになります。

スタート時点の財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 1000	負 債 200
	正味財産 800
合 計 1000	合 計 1000

(1年間の消費活動)

消費損益計算書

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
消 費 700	収 入 800
当期消費損益 100	

1年後の財産対照表

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
資 産 1100	負 債 200
	正味財産 900
	(内：当期消費損益 100)
合 計 1100	合 計 1100

1年後の財産対照表とスタート時点の財産対照表を比較すると、資産が1000→1100に100増加し、負債は変化しなかったため、正味財産が800→900に100増加したことがわかります。

このとき、なぜ資産が100増加したかという原因は、消費損益計算書でわかります。すなわち、消費損益計算書の収入800によって資産が増加し、消費700によって資産が減少し、その差額によって資産が100増加したからです。

財産対照表は財産の結果を示し、その結果の原因を消費損益計算書が示しています。

このように、財産対照表の正味財産の増加（または減少）と消費損益計算書の当期消費損益は、常に一致しています。

財産対照表と消費損益計算書は常に連動し、家庭の財産の状況と損益の状況を示しますから、これらを利用することにより、家庭の全体状況を管理することができます。

「家庭決算書」ソフト・マニュアル（3）活用編

<http://p.booklog.jp/book/26627>

著者：家計会計協会

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kateikeiei/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/26627>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/26627>